

コロナウイルス対策について

2022年4月29日 現在

現在の道・札幌市の措置	特になし
-------------	------

《 練習基準 》

道・市のガイドラインに則り、学校長・学校開放の基準で実施する。

《 練習試合 》

- ① 感染症対策をしっかり行い、双方の同意の下実施する。
- ② 会場は換気を行い、手洗い・うがい・マスク着用を徹底する。
- ③ 練習試合中も感染リスクを軽減を図るためマスクの着用を徹底する。
- ④ チーム内に体調不良者が出た場合、練習試合を中止し、会場にいた全員の体調を3日間観察。
新たに体調不良者・陽性者が出た場合は、主催者に報告する。

《 宿泊を伴う遠征・大会 》

- ① 感染症対策をしっかり行い、実施する。
- ② 選手同士で宿泊される場合、大声は出さない。出来る限り密を避ける。
- ③ 宿泊施設内での他チームとの接触はできる限り控える。
- ④ マスクを外しての会話はできる限り控える。
- ⑤ チーム内に体調不良者が出た場合はその大会基準に則り、対応する。
- ⑥ 宿泊される際は、出来る限り家族での部屋、個室で対応する。

◀ 小連の大会 ▶

【大会参加基準】

☆ 各チームの練習が中止になる場合

- ① 指導者・団員に陽性者が出た場合(該当者と2日以内に練習をされていた場合)
- ② 指導者・団員に濃厚接触者が出て、何らかの症状がある場合(該当者が2日以内に練習をされていた場合)
- ③ 団員の同居人に陽性者が出た場合(団員の陰性証明が出て、尚且つ3日以上経過するまで)

☆ 選手が練習停止になる場合

- ① 本人が体調不良の場合
- ② 本人が濃厚接触者になった場合
- ③ 学校から出席停止の連絡が来た場合
- ④ 団員の学校で当事者のクラスが休校・学級閉鎖などの措置が取られた場合
- ⑤ 同居人が濃厚接触者となり何らかの症状がある場合
- ⑥ 団員の同居人が感染の疑いがある場合

上記に当てはまらない場合は、各チーム・保護者の判断で参加可能です。

【会場管理】

- ・ 参加は登録メンバーと応援12名とする。
※ベンチスタッフは普段指導を行っている連盟名簿に載っているスタッフに限る。
- ・ 保護者の方はチーム2名までチーム同行とする。それ以外の保護者は自分のチームの試合時のみ体育館に入場することが出来る。チーム同行の保護者の交代は認めない。
- ・ 開閉会式は行わない。表彰は簡略化する。
- ・ 参加チームは試合が終わったらすぐに退場する。
- ・ 控室は設けず、コート邪魔にならないように荷物を置く。
- ・ 玄関で検温を行い、37.5℃以上、風邪症状のある子供・保護者・スタッフは入場させない。
- ・ 会場の入り口やトイレに消毒液を設置する。
- ・ コートチェンジの際は、ベンチの椅子を持っていく。試合終了後、ベンチの消毒を行う。
- ・ 得点板・ボールなどの備品は試合終了後に消毒を行う。
- ・ こまめに換気を行う。

【指導者】

- ・ マスクを常に着用し、大きな声で指導しない。
- ・ 公式練習はチーム別で行う。
- ・ タイムアウトやセット間などでの指導者の話は、身体的距離を保つ。
- ・ 大会前後のミーティングも身体的距離を保ち、短く済ませる。
- ・ 試合後、チーム関係者が3日以内にコロナウイルスに感染した場合、主催者に対して速やかに報告を行う。

【選手】

- ・ 試合のないときにはマスクを着用する。
- ・ 試合中のマスクの着用については、保護者・選手にゆだねる。
- ・ こまめに手洗い・うがいを行う。

【保護者】

- ・ マスクは常に着用し、声援はせず、メガホンや拍手のみとする。
- ・ 子供が体調不良や同居人に体調不良者がいる場合は大会参加を控える。
- ・ 団旗などの掲示はしない。